

## 「紙＋アルファ」の可能性を追い求める

杉浦紙工株式会社  
代表取締役 杉浦克彦氏

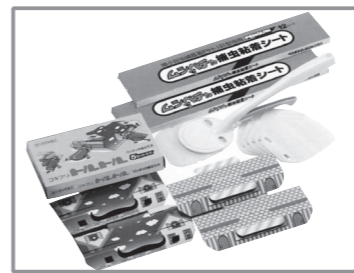
出版、印刷、紙器業界の一分野である特殊紙面加工を中心に取り組む杉浦紙工株式会社。特殊な薬品、塗料、接着剤、フィルムなどを使った加工技術において高く評価されています。「お客様にいただいたテーマをいかに実現できるかが大切」と語る杉浦克彦社長は、製造部門とは別に研究部門の充実を図り、独自性を追求しています。

### 身近な存在だった「紙」

私は当社が創業して間もなくして生まれました。当時は主に折り紙や短冊にハケで塗料を塗る作業を行っていました。会社の二階が自宅だったこともあり、物心つい



▲28℃で色が変わる温感名刺は手渡す際の話づくりになる



▲粘着材を利用した各種害虫の捕獲製品

たりして遊んでいるうちに、仕事を手伝うようになりました。長男だったこともあり、幼心に「跡を継ぐのかな？」と感じていました。そんな思いとは裏腹に、先代である父からは家業を継ぐことについて何も言われなかったため、私は興味のあつた理科系の大学へ進み、卒業後は薬品関係の仕事に就きました。しかし、仕事で薬品の研究を続けるうち、「紙に薬品を付けること、何か面白いものができるのではないか？」との思いが湧いてきたのです。こうして私は父の跡を継ぐことを決意しました。

た頃から私にとって紙は身近な存在でした。家の中はいつも紙で溢れていて、折り紙で飛行機を作っ

### 研究部門の充実で「紙＋アルファ」を追求する

昭和59年、社長に就任して間もなく、社内に研究設備を導入し研究室を設立しました。紙製品の加工技術は日進月歩であり、これらの技術の習得と新たな商品の開発には、自社で研究することが不可欠であると考えたからです。それ以来、紙＋アルファの可能性を追求することが当社の大きなテーマ

となりました。紙面を加工する際に必要な塗料や薬品の開発はもちろんのこと、既存の製品の品質向上も目指しました。その甲斐もあり、現在まで高水準の加工技術を維持することができています。県内シェアの大部分を占めるラミネート加工品、害虫捕獲用粘着シート、温度で色が変わる温感紙など、付加価値の高い製品を生産し、お客様からは高い評価をいただいています。

### 大きくしすぎない会社づくりも大切

私たちのような規模の会社ではとても難しいことだと痛感しました。あまり背伸びすることなく、小ロットで多品種の物を生産することでおお客様のニーズに応える、大きくしすぎない会社づくりが大切だと分かりました。

現在、当社の従業員は30名ほどです。お客様のニーズをいち早くキャッチし、応えるため、営業、研究、製造の各部門が一体となって奮闘しています。私も従業員とのコミュニケーションを大切にし、紙＋アルファの可能性を追い求めていきたいと思っています。



▲普段から情報収集を欠かさない杉浦社長は「お客様からアイデアをいただくこともありますよ」と話す



以前、大手の殺虫剤メーカーからの依頼で、害虫捕獲用粘着シートを生産していました。大手メーカーの仕事に請け負うことは、私たち地方の中小企業にとっては喜ばしいことです。しかし、大量生産で納期が決められていると、納期に間に合わせるため休日返上で工場を稼働させ、従業員を出動させなければならぬ上に、品質管理もおろそかになりがちです。私

### Company Data

#### 杉浦紙工株式会社

本工場 ● 岐阜市折立1054  
電話 ● 058-239-1115  
事業内容 ● 紙加工品の製造、販売  
創業 ● 昭和27年  
HP ● <http://www.sugiura-shiko.com/>